

第119号



郵政産業労働者ユニオン東京地方本部  
104-0031 東京都中央区京橋3-6-3  
京橋通郵便局5F  
TEL・FAX 03-3535-5447  
piwutokyo@yahoo.co.jp

# 内部留保を賃金にまわせ

## 大幅賃金引き上げで賃下げ分を取り返そう

昨年末の財務省によると、資本金10億円以上の大企業の内部留保は413、3兆円、前年より増加させています。

これは政府の大企業への減税と労働者に支給するべき賃金を低く抑えてきたからです。私たちの賃金は、10年前に比べると約30万円も下がっています。その一方で、企業はその分の利益を上げてきています。それは労働分配率が2008年に比べて約10ポイントも低下し、企業への配分率は約15ポイントも上がっていることから明らかです。

12月17日の朝日新聞にオリックスの宮内義彦氏は、『経営者は株主に奉仕』『業績をあげるのが最優先』と云ってきたが、いまは、この考えは変わった。貧富の格差が社会の亀裂を生んでいる。ここ5年ほどで『そういう資本主義でいいのか』と疑問を抱くようになった。経済活動は人に奉仕するため存在する。：：次の時代は、より分配に力を

# 1月5日池袋駅で春闘宣伝 85人参加で春闘ビラ1300枚配布

郵政ユニオン本部中村書記長は、池袋駅の宣伝で①安倍9条改悪に反対 ②沖縄の辺野古新基地建設反対 ③大幅賃上げ、郵政20条裁判をはじめとして非正規労働者の待遇改善に向けて全力をあげてたたかっていく、と訴えました。



入れた社会をめざすべきだ」と述べています。アベノミクスによって貧困と格差が広がり、日本社会に深刻な事態をつくりだしてきています。それを資本の側からも言うようになってきている程異常なのです。

郵政も15兆4千億円の資産と3兆6千億円の剰余金があり、賃上げは充分できます。私たちは春闘で「内部留保を全ての労働者の賃金にまわせ、大幅な賃金引き上げで生活の改善を」のたたかいを大きくさせていこう。